

2009年度経営プラン 第3四半期フォロー

2010年2月8日

古河電気工業株式会社

09Q3累積 経常・当期利益が増益

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

	a	b	b-a
	08年4~12月	09年4~12月	増減
売上高	8,445	5,813	-2,632
営業利益	251	97	-154
持分法損益	9	27	+18
為替損益	-145	+4	+149
経常利益	74	96	+23
当期利益	31	105	+74

●売上高減少への銅・アルミ地金価格や円高の影響等－977億円

●営業外の持分法・為替損益が＋167億円改善し、経常・当期利益が改善

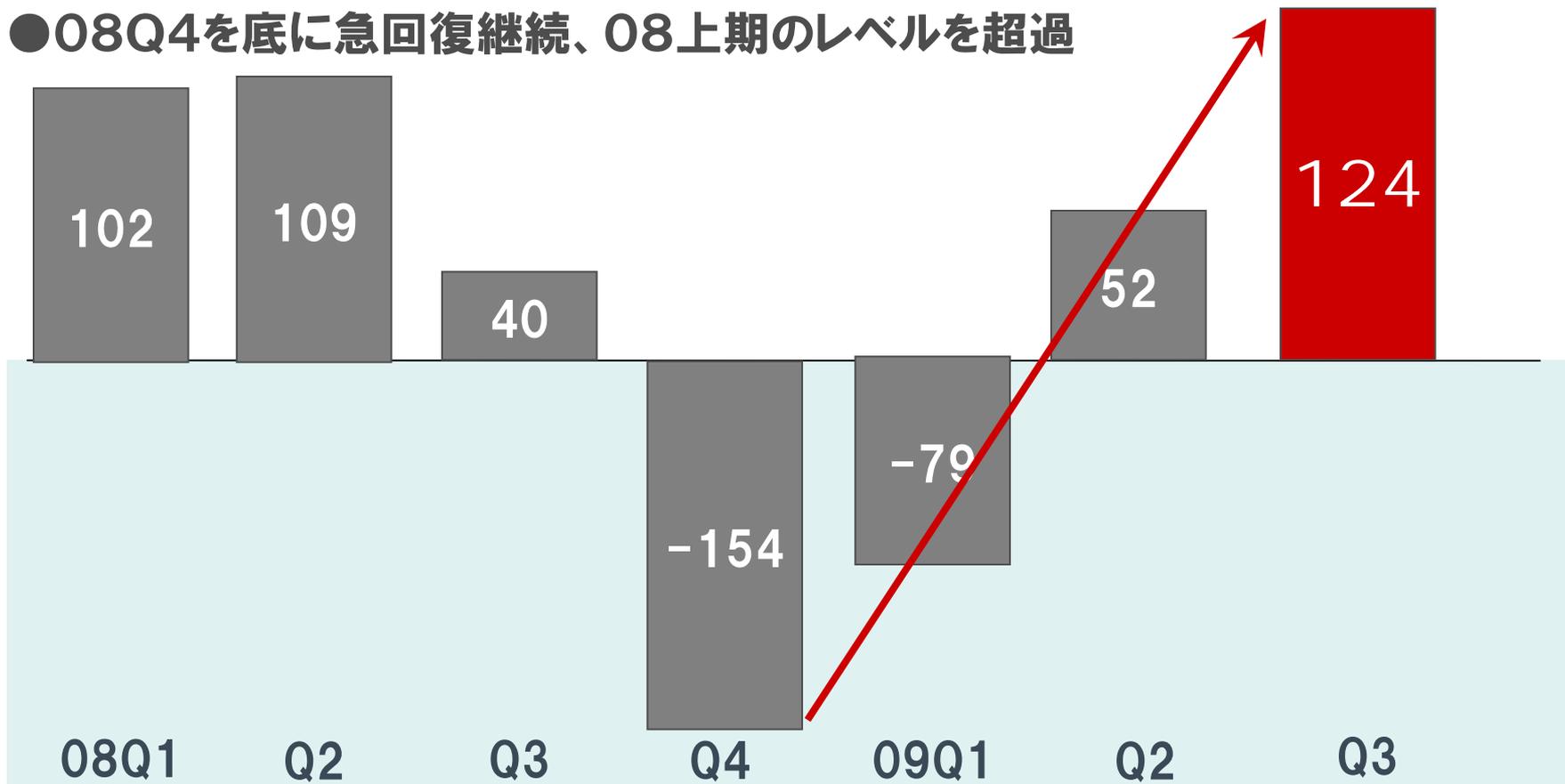


09Q3営業利益 回復継続

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

- エレクトロニクス・自動車向け素材事業が回復
- 08Q4を底に急回復継続、08上期のレベルを超過

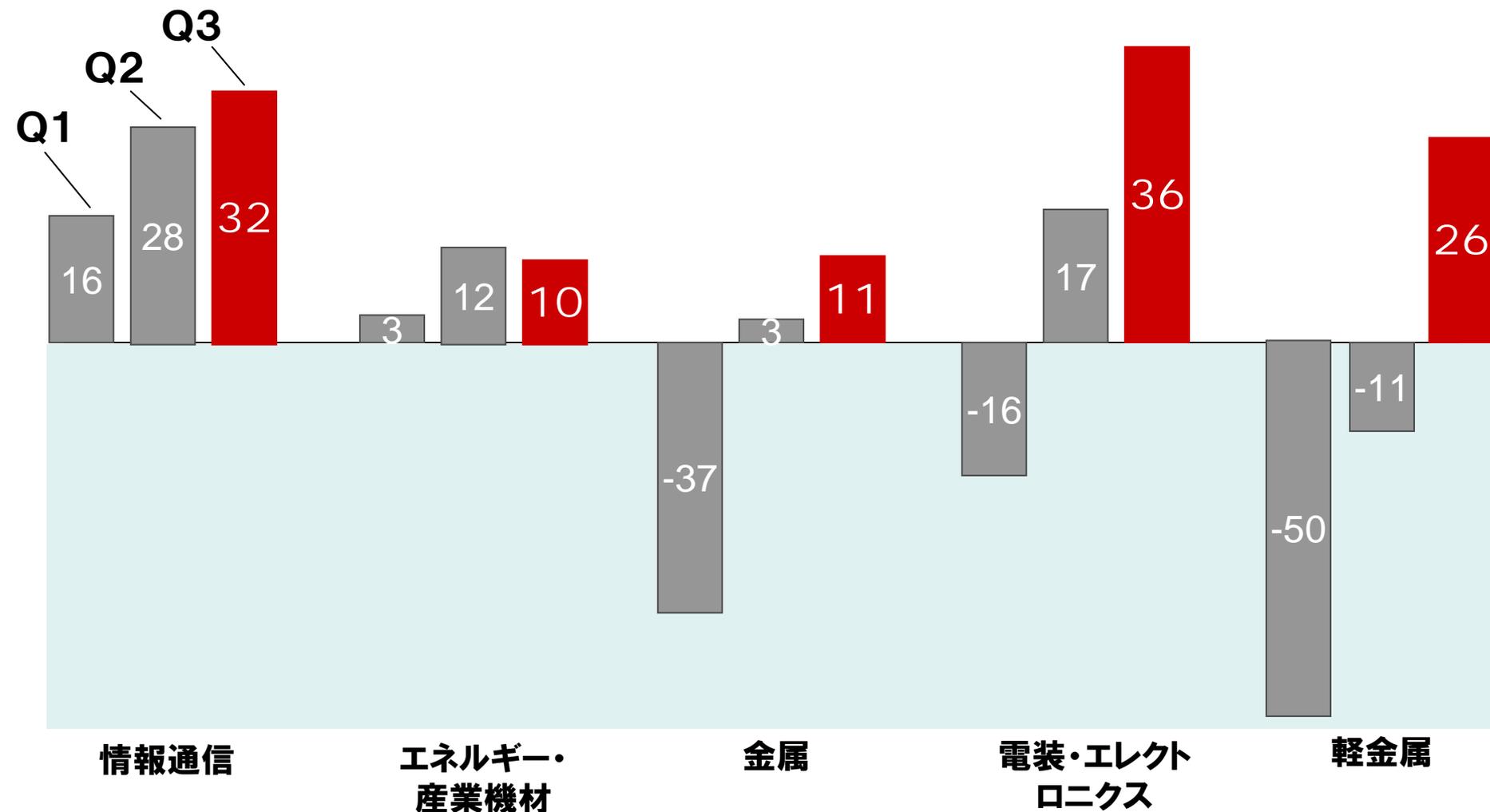


09Q1～3セグメント別営業利益推移

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

全セグメント黒字化 電装エレ、軽金属の改善顕著



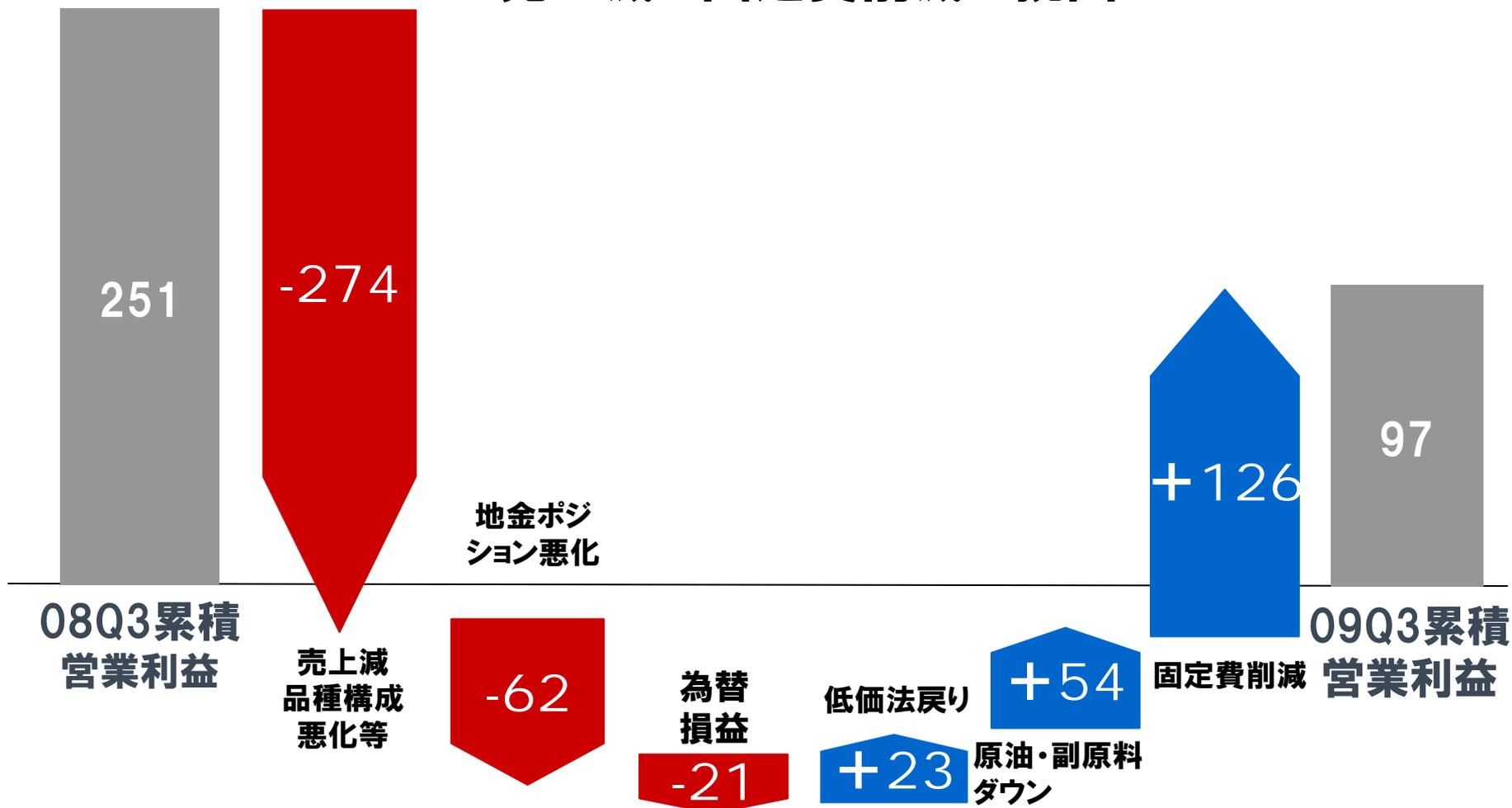
営業利益増減分析

【08年4～12月】 vs 【09年4～12月】

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

売上減を固定費削減で挽回

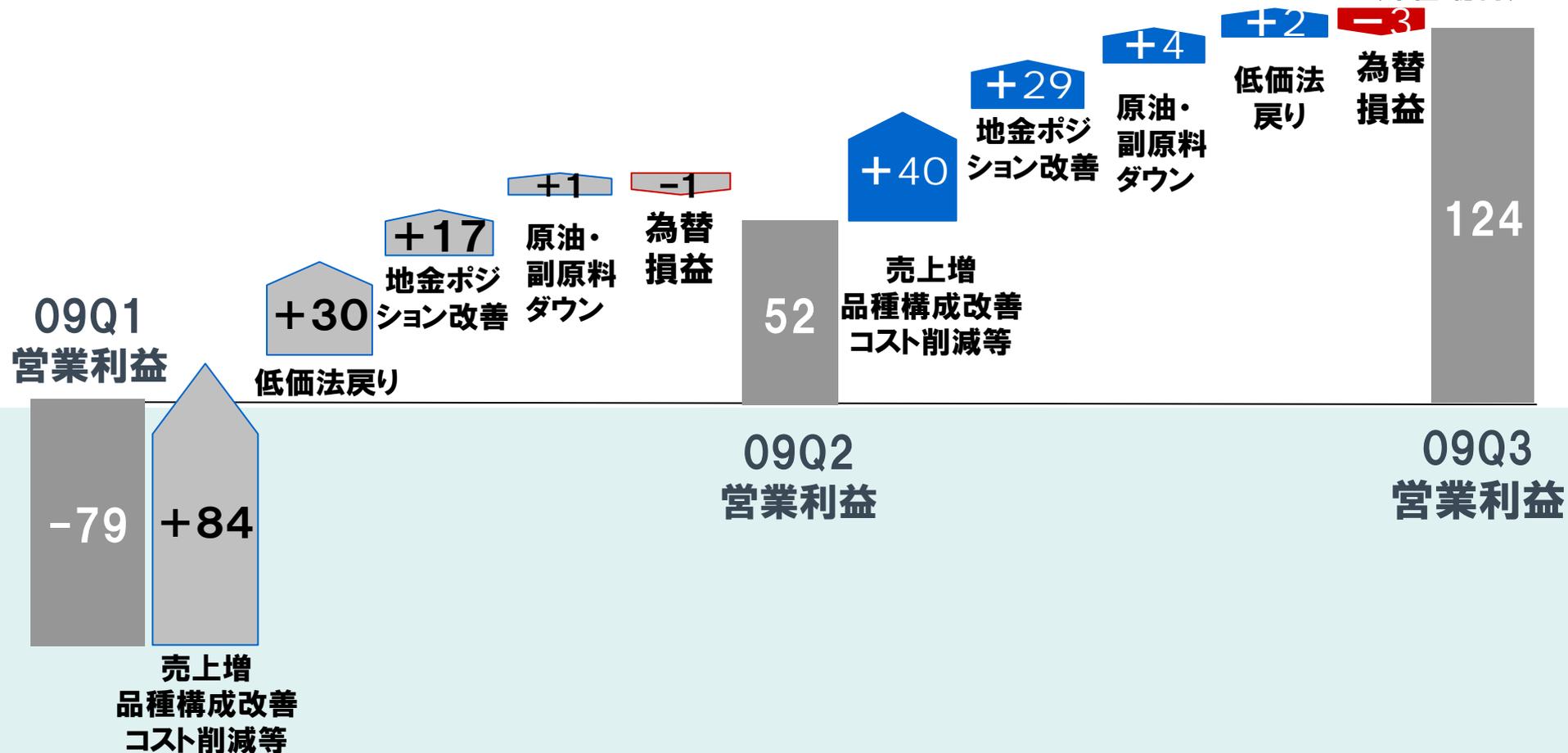


営業利益増減分析

【09年4～6月】vs【09年7～9月】vs【09年10～12月】

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)



9ヶ月で固定費126億円削減(08年度比)

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

項目	内容	Q1実績	Q2実績	Q3実績	9ヶ月計
設備関連	減損による償却費減 設備投資圧縮 銅線・発泡生産拠点集約等	+8	+9	+12	+29
人件費・ 経費関連	労務経費圧縮 役員報酬・従業員給与カット その他経費圧縮等	+33	+30	+34	+97
計		+41	+39	+46	+126

通期見通し160億円に対し進捗率79%

09予想修正 営業利益+50%増

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

	a	b	b-a	
	08実績	09旧予想 (11月6日公表)	09新予想 (2月8日公表)	増減
売上高	10,328	8,070	8,070	±0
営業利益	98	100	150	+50
経常利益	▲148	70	120	+50
当期利益	▲374	25	40	+15

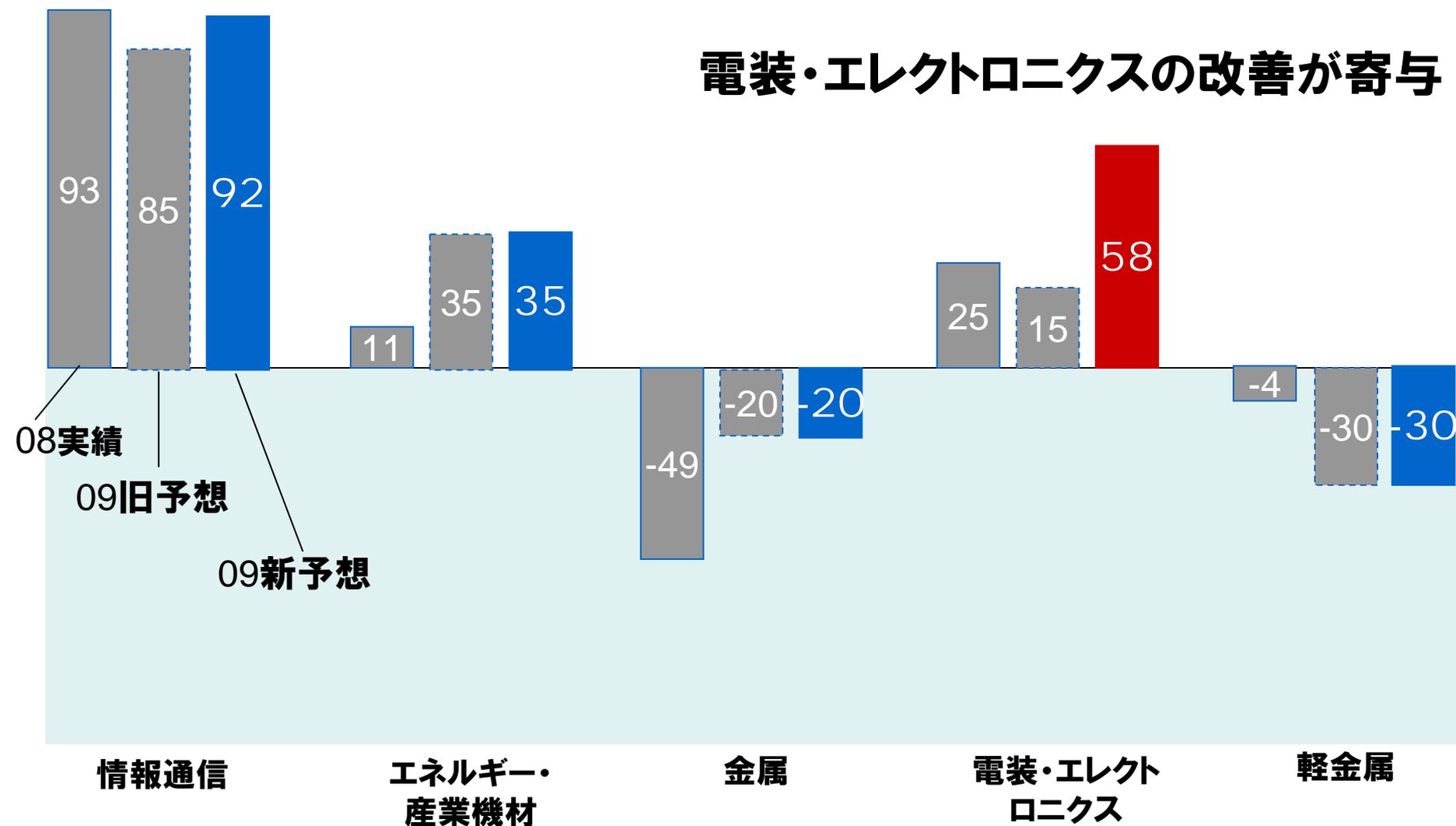
- エレクトロニクス・自動車分野事業の回復
- コスト削減の進展 などが寄与

セグメント別営業利益通期予想 新旧比較

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

電装・エレクトロニクスの改善が寄与



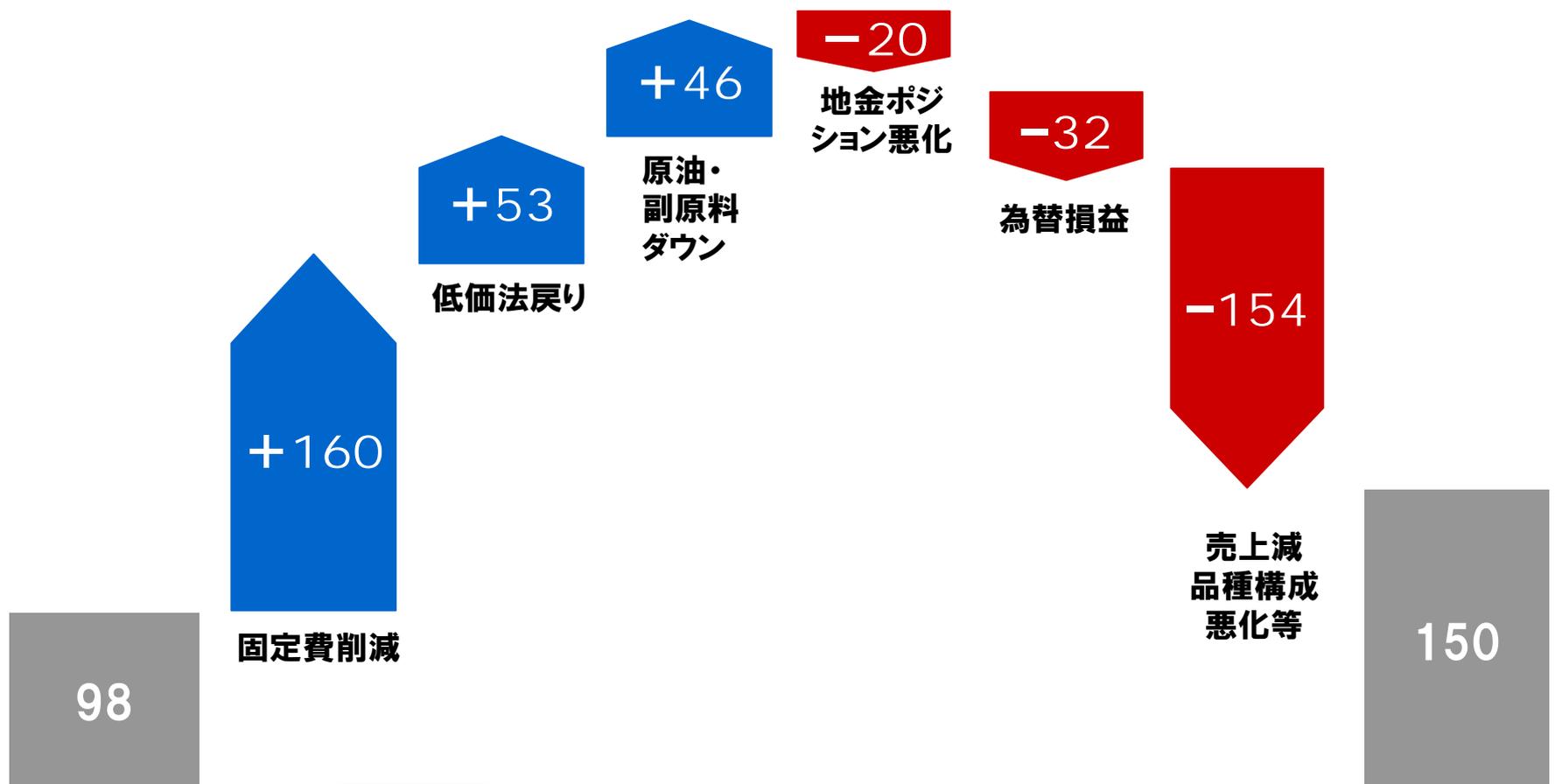
営業利益増減分析

【08実績】 vs 【09新予想】

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

売上減を固定費削減でカバー



08実績

09新予想

ご清聴ありがとうございました。



将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。